

# 兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS

No.15 2011.3

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。



お元気でお過ごしでしょうか。

3月11日の東北沖巨大地震による凄惨な模様がテレビで連日報道されています。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

自民党は谷垣禎一総裁を本部長とする緊急対策本部を設置、我々自民党県議団も兵庫県連と緊急対策本部を設置して街頭募金活動の実施と義援金の受け付けをしています。皆様のご協力を切にお願い申し上げます(2面をご参照下さい)。

江戸末期の幕臣で明治初期の政治家、勝海舟は「政治の秘訣は何もない。ただただ『誠心誠意』の4文字ばかりだ」と語りました。大災害に対しても政府、政治家が大切にしなければならない言葉だと思います。

私もさらにこの4文字を肝に銘じながら議員活動に全力を傾注してまいります。

何とぞ、ご支援ご指導の輪を広げていただきたく、心よりお願い申し上げます。

## 課題解決は兵衛の使命です

内藤兵衛県会議員は、平成23年度予算案を審議する第308回定例県議会本会議で一般質問に登壇しました。4度目の質問ですが、いずれも予算を審議する2月定例会で、自民党県議団の期待の大きさが伺われます。

願いを“かたち”に一全力です

シカたないではすまされない!



て実行していく体制の構築が重要。自衛隊との連携など新たな方策も必要だ。

**A 井戸知事:** 都市部ハンターとの連携や狩猟現地体験会の開催など猟友会への支援と若い世代の養成に配慮したい。JAや市町にもわな使用の資格取得を促している。自衛隊との連携は、今後、国と協議しつつ研究を深める。

### 共済基金制度を創設

**A 井戸知事:** 市町と一体となった取り組みは必要だ。捕獲、防護策の設置、育成林の整備などのほか、シカやイノシシなどによる被害を受けた農家に支援金を交付する鳥獣害共済基金制度の創設、多可町のシカ肉加工施設に対する支援など、総合的、積極的に取り組んでいく。

### 市町一体で被害防止

**Q 内藤県議:** 今年度のシカ捕獲目標を2万頭から3万頭に上げているが、依然として被害が減少していない。猟友会の協力をいただきながらも、県や市町が責任を持っ

2月県会で4度目の一般質問

## 地域と頑張る人を応援します!

### そば交流拠点に支援

**Q 内藤県議:** 23年度は、自民党の提案で「地域の夢推進事業」を創設し、北播磨県民局管内では1億5000万円の予算が計上されている。この財源も活用し、人口減少地域の地域振興を図らなければならない。

**A 井戸知事:** 岩座神集落の地元産のそばを活用したそば打ち拠点づくりを支援した。23年度からは事業費1億円程度のかかり大規模な交流拠点の整備を支援していく。

### 文化や歴史に根ざした活動を後押し

**Q 内藤県議:** 文化や歴史、伝統など地域の風土に根ざし、地域で頑張る団体や個人を後押ししていくことが重要だ。

**A 井戸知事:** この事業では、その地域ならではの振興に結びつく施設整備で、きめ細かい機動力のある取り組みができる。ソフト・ハード両面からの人口減少地域の元気づくりが進むと期待している。

2面に続く

## 石破自民政調会長迎え決起大会

### 「勇気と真心を持って真実を語る」

2月5日、西脇市で開いた「内藤兵衛決起大会」に駆けつけて下さった石破茂自民党政調会長。「民主党の政権交代は、手段ではなく目的だった」と指摘、「勇気と真心を持って真実を語る。それが政治家の役割だ」と語り、内藤県議の政治姿勢にエールをいただきました。

大会には国会・県会議員らの応援をはじめ、1400人の市民の方々の参加をいただきました。





# 県民総参加で災害に強い森づくり！

## 実情に応じた対策実施

災害に強い森づくりに向けて、23年度以降も県民みどり税が延長されます。

**Q 内藤県議：**単なる延長にとどめるべきではなく、事業効果の検証や課題、採択要件の緩和を求める地元要望を施策に生かさなければならない。

**A 井戸知事：**里山防災林整備、針葉樹林と広葉樹林の混合林整備の要件を緩和。特に野生動物育成林の整備では、第1期の全体計画事業費を約7億円から14億円に倍増する。

## 自主的整備に費用支給

**Q 内藤県議：**森は郡部が都市部を思い、都市部が郡部を思う共通理解とお互いの絆を深めていくという非常に重要な共通の財産でもある。

**A 井戸知事：**県民総参加で進める兵庫県の特徴を生かし、県民の自主的な災害に強い森づくり整備活動に対し、資機材等の費用として、1地区あたり250万円を支給する『住民参画型森林整備事業』を新設する。

# 必要です「絆を結ぶ道」「経済の道」「命を守る道」！

## 県道丹波加美線 両側同時着工で工期短縮

**Q 内藤県議：**民主党政権の「コンクリートから人へ」だけでは暮らしは守れない。「コンクリートも人も」大切に、都市部と地方との共生をめざす。政権交代以降の公共事業費の大

幅減で整備の遅れが危惧されている道路整備について何う。県道丹波加美線の完成見込みは。

**A 県土整備部長：**清水坂トンネルの工期短縮のため、多可・丹波両側から同時着工して平成24年度内の完了後、前後の道路工事を実施し、25年度末の全線供用を予定している。

バス、黒田庄町から丹波市山南町に至る未指定区間の今後の対応を何う。

**A 県土整備部長：**具体的な供用時期は国は示していない。国に対して、予算確保と事業推進を求めている。黒田庄町から山南町間約8kmについても、早期に調査区間に指定されるよう、西脇北バイパスの早期供用と併せて整備促進期成同盟会と連携して国に強く働きかけていくので、ご指導をお願いしたい。



「清水坂トンネル着工を祝う会」で挨拶

## 国道175号 国の予算削減が影響

**Q 内藤県議：**国道175号西脇バイパス、西脇北バイ

団体で構成する福祉人材確保推進協議会で、関係団体との連携を図るとともに、意見交換等を通じて効果的な人材確保支援方策を検討する。また、国の抜本的な制度改革が必要不可欠。24年度の介護報酬改定へ向け、介護報酬の基準額の引き上げによる適正な水準設定を国に強く要望していく。

# 介護の人材が確保できる仕組みで共生社会実現へ

## 資格取得費用を補助

**Q 内藤県議：**福祉現場に関わる現状は、労働条件が劣悪な3K職の代表格で、離職率も高く、人材不足が常態化している。福祉は人と人をつなぐ絆であり、その担い手には支援の充実を図っていく必要がある。

## 13団体で意見交換

**Q 内藤県議：**すべての職員が「私たちが地域の福祉を支えている」という誇りと自信を持って働き続けられるよう、本格的に議論を深めなければならない。

**A 健康福祉部長：**兵庫労働局や介護福祉士会など13

**A 健康福祉部長：**23年度は資格取得費用への補助や介護従事者のキャリアパス（目標とするキャリア等を目指しながらスキルや成果を上げていくこと）構築への支援をする。

## 東日本大震災救援緊急街頭募金を実施中！

↓義援金も受付中です↓

郵便振替口座：01150-4-8475  
加入者名：自由民主党兵庫県支部連合会特別事業部  
\*通信欄に「東日本大震災支援募金」と明記して下さい



発行 兵庫県議会議員**内藤ひょうえ**事務所  
**西脇事務所**  
 〒677-0016 兵庫県西脇市高田井町341-1  
 TEL0795-23-0417 FAX0795-23-0418

●ホームページ <http://www.naito-hyoe.net/>  
 折々の考えや思いを綴ったブログをぜひご覧ください

### 内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町（現多可町中区）生、52歳
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- ・私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業
- ・昭和57年、総合商社（株）トーマン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・産業労働、建設、総務、農政環境各常任委員会委員
- ・自民党県議団政調副会長
- ・予算・決算特別委員会委員
- 家族：母、妻、一男
- 趣味：読書、スポーツ
- 好きな言葉：一日一生